メガネフレーム及びサングラス 取扱説明書

安全で、快適にご使用いただくために、この説明書は必ずお読みください。
小さなお子様には、保護者の方が読んでわかるように説明してください。

HOYA ビジョンケアグループ
お客様相談室

2011年4月改訂
J10033N904-0040/2011-04-01

ごあいさつ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。メガネは正しい使用法でご愛用ください。なお、この取扱説明書はいつでも読み直せるように大切に保管してください。

ご使用の前に

本製品は目の屈折補正用のメガネフレーム、または通常のサングラスです。
1）強い衝撃にはフレーム、レンズとも破損します。
2）サングラスや、カラーレンズ等には、運転に使用できないものがあります。
　ご購入時にご購入店で、運転の可否について、ご確認ください。
3）運転や操縦はメガネに慣れてからにしてください。見え方や使い方に慣れないうちは、距離感などがつかめず危険です。

●表示とその意味

警告	誤った取り扱いをした時に重傷・失明など重大な結果になる可能性があることを示しています。
注意	誤った取り扱いをした時に傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。
	一般的な注意が必要なことを示しています。
禁止	特定の行為の禁止を表しています。
指示	特定の行為の義務づけを表しています。

メガネのご相談は

ご購入店または下記のHOYA ビジョンケアグループ「お客様相談室」までご相談ください。

受付　平日の午前10時から午後5時まで
（土・日・祝日及び年末年始休を除く）

HOYA ビジョンケアグループ
お客様相談室
03-3207-1111

安全で快適にご使用いただくための重要な内容ですので、必ずお読みください。

安全上のご注意

警告

禁止

❶ サングラス（カラーレンズ）夜間・夕暮れ時の使用の禁止

視感透過率７５％未満のレンズを使用したものは、光量不足で視力が低下する場合があり、夜間や夕暮れの時の運転には使用しないでください。

❷ 昼間の運転の禁止

視感透過率８％以下のレンズを使用したものは、昼間でも光量不足で視力が低下する場合があり、大変危険ですので、運転には使用しないでください。
※フォトクロミックレンズは低温では視感透過率が8%以下になる可能性があります。

❸ 特殊カラーレンズでの運転の禁止

青、緑、赤などのカラーレンズや一部の遮光レンズを使用したものは、信号が識別しにくくなりますので運転には使用しないでください。

❹ 太陽や強い光を直視しないでください

カラーレンズの濃淡や、紫外線カットの有無にかかわらず、太陽や強い光を直視しないでください。目に重症を負ったり、失明に至る場合もあります。

指示　保護具と併用

① 激しいスポーツには保護具と併用してください

本製品は、保護メガネとして使用できません。強い衝撃があれば破損し、破片で目や顔に重傷を負うおそれがあります。失明に至る場合もありますので、サッカー、スキーや野球など、激しい衝撃をうけるおそれがある場合は、保護具（ゴーグルなど）と併用してください。

注意

禁止

❶ 変形・改造の禁止

故意に変形・改造したり、キズをつけないでください。素材が劣化し、破損する原因になります。

❷ UVカット付きサングラス

ＵＶカット加工は、通常使用の状態での有害な紫外線をカットするための加工であり、業務用の紫外線保護メガネとしては使用できません。

指示　医師の診察

① アレルギー体質の方へ

鼻や耳など、フレームが肌に触れる箇所に、かゆみ、かぶれ、湿疹など異常があるとき、または異常が生じたときには、すぐに使用をやめ、皮膚科の医師の診察を受けてください。治療とともに、体質に合った部品又はフレームと交換することが必要です。

指示　異常は相談

② 異常が生じたメガネは使用しないでください

●フレームは、表面層のはがれやヒビ割れにより素材が露出したり、変化する場合があります。そのまま使用されますと、肌に異常を生じることがあります。早目に購入店にご相談ください。
●鼻や耳の当たり具合が、強すぎる場合、そのままご使用されますと、肌に炎症など異常を生じるおそれがあります。早めに購入店にご相談ください。
●メガネは日常お使いいただくうえで、少しずつ型くずれを起こします。変形すると装用感が悪くなったり、ズレ落ちたりしてレンズが正しく使えず見づらくなります。何らかの不具合が生じた時は、すみやかに購入店にご相談ください。

注意

禁止

❶ 溶剤で拭かないでください

●アルコールやシンナー等でフレームを拭かないでください。樹脂の変質・変色の原因になります。

❷ 高温（55℃以上）にさらさないでください

●フレームやレンズが変形して、レンズが脱落する恐れがあります。
●レンズにひずみが入ったり、コート膜にヒビ割れが入り、見え方に影響することがあります。
●サウナでは使用しないでください。
●炎天下の砂浜や直射日光が当たる所には放置しないでください。
●炎天下の車内は70℃～80℃になりますので、車内に放置しないでください。
●熱湯で洗ったり、ヘアドライヤーの熱風を当てないでください。
●熱いアイロン、ストーブ等、高温のものへ近づけないでください。

指示　点検を受ける／交換をする

① 点検を受けてください

●メガネはレンズ、フレームとも経年変化により素材が劣化したり、変色したりすることがあります。　また「鼻当て」や「溝掘りフレームの外糸（バンド、吊り糸）」、「テンプルチップ（モダン）」などは、　消耗品です。必要に応じ、買い換えてください。また、度数が合わなくなる場合もありますので　　一年を目安に、購入店で定期的に点検を受けてください。
●ネジがゆるんだ場合や変形した時は、レンズがはずれる可能性があります。
　使用を中止し購入店で調整してください。

指示　洗って拭き取る

② 化粧品、整髪料等は洗い流して拭き取ってください

化粧品、整髪料、ヘアスプレー、油、汗、カビ取り剤、トイレ・浴用洗剤やアルカリ系や酸性の洗剤、薬品、シンナー等の溶剤、レモン等の果汁等がフレームに付いた時は、すぐに水洗いしてよく落として拭き取ってください。そのままにしておくと、フレームの樹脂の変質・変色の原因になります。レンズに付着したときも同様に洗って拭き取ってください。そのままにしておくとコート膜がはがれたりシミになって取れなくなることがあります。

指示　注油する

③ バネ丁番付きフレームの注意

バネ丁番付きフレームは構造上、湿気、水分、ほこり等を嫌います。濡れた時や洗浄後は水分をよくとり除き、ミシン油を注油してください。また、無理に開かないでください。故障の原因になります。

フレームの種類

各部の名称

① フロント ---------- フレーム前面部の総称
② テンプル（つる） ---------- 丁番の部分から耳にかかる部分までの総称
③ ブリッジ（山） ---------- 左右のリムをつなぐ部分
④ リム（レンズ縁） ---------- レンズを保持する溝の付いた部分
⑤ パッド（鼻あて） ---------- メガネを支えるための鼻に接する部分
⑥ パッド足 ---------- パッドとリム又はブリッジをつなぐ部分
⑦ テンプルチップ（モダン） ---------- メタルテンプルの耳に接する部分
⑧ 丁番 ---------- フロントとテンプルをつなぐ開閉機能を持った部分
⑨ 外糸（バンド、吊り糸） ---------- 溝掘の溝に沿ってレンズを保持するための部分
⑩ ピンまたはツメ ---------- ピンフィール・センスビットまたは、ツーポイントフレームにおいて、レンズを止めている部分

1.
ピンフィールタイプ、センスビットタイプ
縁なしフレームで、レンズを側面よりピンで保持しているフレーム。

2.
エアリストタイプ
縁なしフレームで、レンズ側面に設けた切り欠きにパーツを挿入することによって保持しているフレーム。

3.
エルフィーレタイプ
縁なしフレームで、レンズの正面より２本のピンで固定しているフレーム。

4.
ツーポイント（スリーピース）タイプ
縁なしフレームで、レンズをネジによって保持しているフレーム。

5.
メタルフレーム（フルリム）
レンズの外周を金属のリムで保持する形式のフレーム。

6.
溝掘りフレーム（リムロン）
レンズに設けてある溝部を外糸（バンド、吊り糸）で保持する形式のフレーム。

7.
コンビネーションフレーム
フロントの主要那分がプラスチックと金属の組み合わせで作られたもので、主にリムが金属で作ってあるフレーム。

8.
プラスチックフレーム
フロントの主要部分がプラスチックで作られているフレーム。

お客様のご購入されたメガネフレームサングラス

■フレームの種類

☐ ピンフィールタイプ　☐ センスビットタイプ
☐ エアリストタイプ　☐ エルフィーレタイプ
☐ ツーポイントタイプ　☐ メタルフレーム
☐ 溝掘りフレーム　☐ コンビネーションフレーム
☐ プラスチックフレーム　☐ その他

品番
サイズ　☐　ー
ご購入日　年　月　日
店名

フレームの種類による注意

ピンフィール、センスビット、エアリスト、エルフィーレ

●ピンフィール、センスビット、エアリスト、エルフィーレ等は、縁がなくレンズに穴や切り欠きを設けて接着固定しています。このため従来の縁付の製品と比較しますと破損しやすいメガネです。強い力を加えたり、落としたりすると破損します。掛け外しや拭き方などは右段の「メガネの正しい取り扱い方」を熟読いただき、特に丁寧にご使用ください。また無理に広げたり、ねじったりしないでください。掛け具合の調整が必要な場合や、変形など異常が生じた場合は、購入店にご相談ください。また超音波の洗浄は、しないでください。

●度数変更やレンズの種類の変更などのために、レンズを入れ替える場合、旧レンズはお返しできません。レンズが接着されていますので入れ替えに際しましては、旧レンズを破壊してしまいます。
●レンズを接着剤で固定しているメガネは、接着剤の劣化により接着がはがれる場合があります。接着がはがれた場合は、ご自分で接着せずに購入店にご相談ください。再接着は工場修理となります。

ツーポイント

禁止

●レンズに穴を開け、ネジで固定しているツーポイントフレームは、保護ナットが緩んだり、変形したり、レンズやフレームが破損しやすいメガネです。特に丁寧にご使用ください。ネジが緩んだり、保護ナットが外れたり、変形など、異常が生じた場合は、ただちに使用を中止し速やかに購入店にご相談ください。ネジが出たままや、保護ナットが外れたまま使用されますと、ネジで顔や目を負傷するおそれがあります。

溝掘りフレーム（リムロン）

定期交換

●ナイロン糸でレンズを固定する構造の溝掘りフレームは、ナイロン糸の劣化により、糸が切れてレンズが落下することがあります。糸は消耗品です。一年を目安に点検を受け、必要に応じて買い換えてください。
●ナイロンの糸は熱や衝撃により切れることがあります。火のそばに置いたり、ぶつけたりしないでください。

装飾フレーム

禁止

●貴金属部分や装飾部分は、とがっている箇所があります。ぶつけたり、ひっかけたりしないようにご注意ください。小さなお子様のお世話や就寝の時には使用しないでください。

ベッ甲・宝石付フレーム

禁止

●宝石付フレームは、宝石が超音波洗浄によって、損傷する場合があります。オパール、エメラルド、真珠などは洗浄出来ません。購入店におたずねください。
●べっ甲製のフレームは超音波洗浄器で洗わないでください。分解したり変質したりします。お手入れは購入店におたずねください。
●テンプル（つる）の太いフレーム
ツルの幅が広いフレームは、側方の視界を狭めることがあります。運転等の際はご注意ください。

メガネの正しい取り扱い方

誤った取り扱いをしますと、いろいろな不具合を生じますので、ご注意ください。

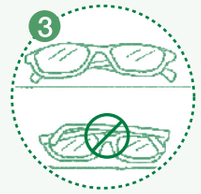
1. 掛ける時

両側のテンプル（つる）をきちんと開いて、顔に沿わせながら、正面よりゆっくり掛けてください。片方だけを持って無理に掛けますと破損、変形、ゆるみなどの原因になります。テンプルの先で目や顔を突かないようご注意ください。

2. はずす時

両側のテンプル（つる）を持って、顔に添わせながら、正面よりゆっくりはずしてください。片方だけを持って無理にはずしますと、破損、変形、ゆるみ、コートのヒビ割れなどの原因となります。
特に縁なしメガネはていねいに扱ってください。また、はずすときもテンプルの先で目や顔を突かないようにご注意ください。

3. 置く時



レンズの凸面を上向きにして、置いてください。下向きにして置きますと、レンズにキズが入る原因となります。

4. 拭く時

拭く方のレンズの外側を持って、レンズ専用メガネ拭きで、サンドイッチをつまむ位の力でそっと拭いてください。拭く方の反対側を持ったり、力を入れすぎたりしますと、フレームやレンズが破損することがあります。

5. レンズに異物やホコリ等が付着している時

キズに強いコート加工のレンズでも、まず水洗いしてください。ティッシュペーパーで水気をとり、定期的に洗浄したメガネ専用メガネ拭きで、軽く拭いてください。乾拭きしますと、キズが入ります。

6. 超音波洗浄器ご使用の時

超音波洗浄器を使用される場合は、1分以下を目安に、メガネを水中で揺らしながらご使用ください。なお超音波洗浄器が使用できないフレームがあります。左段の「フレームの種類による注意」でご確認ください。

7. 汚れのひどい時

中性洗剤を薄めた液で洗ってください。そのあと水洗いし、前項と同様に拭いてください。アルカリ系、酸性の洗剤は使用しないでください。コートがはがれる原因となります。

8. メガネが濡れた時

すぐにメガネ拭きで拭いてください。そのまま放置されますと、レンズに水跡がシミのようになって、取れなくなります。また、フレームは金属部のサビや、樹脂の変色・変質の原因となります。

9. 就寝の時

就寝の際にはメガネを外してください。メガネを掛けたまま就寝しますとフレームやレンズの破損、型くずれの原因となります。

10. 持ち運びする時、使用しない時、保管する時

手入れをしたうえで、図のようにレンズ部をメガネ拭きでくるんでから、メガネケースに入れてください。また、保管の際は、防虫剤、洗剤、化粧品、整髪料、薬品等の入った場所に保管しないでください。レンズ、フレームの変質、変色、劣化の原因となります。

■ ケースはやや大きめを

メガネケースは、幅、高さ、奥行きに余裕のあるケースを使用してください。小さいケースにしまいますと、レンズやフレームが破損することがあります。

裏面もお読みください。レンズの取扱説明書も併せてお読みください。